



地域全体で支え、子供たちが学び、成長する活動を

問 学校、家庭、地域の連携強化に向けた地域学校協働活動の目指すところは。

答 地域学校協働活動は、幅広い地域住民の方の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりにつながる活動である。今年度から双葉小学校はじめ4校で活動の効果的な実施を図るため、地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を果たしていただいている。今後も地域による学校への支援だけでなく、子供たちが地域の行事に参加するといった地域への取組を進めたい。さら

問 地域学校協働活動にはどのような目的があるのか!!

答 ネットワークづくりや地域のつながりづくりを目指している。広い地域住民の方の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりにつながる活動である。今年度から双葉小学校をはじめ4校で活動の効果的な実施を図るため、地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を果たしていただいている。今後も地域による学校への支援だけでなく、子供たちが地域の行事に参加するといった地域への取組を進めたい。さら

伊藤 幸弘 議員
※1 公共交通のさらなる活用性向上について

鈴木 浩二 議員
※1 施設方針等及び会派要望への見解について
※2 パリアフリーへの取組について

谷口 睦生 議員
1 地域・くらしのGX推進について
※2 物価高対策について

牛田 清博 議員
※1 市民の暮らしを守る市政について
※2 下水道行政について
※3 2023年度予算について

黒川 智明 議員
※1 第11次刈谷市交通安全計画について

城内 志津 議員
1 子どもにやさしいまちづくりについて
※2 地域の人への投資について
※3 安心して子を産み育てたいと思える環境づくりについて
4 住民自治のまちづくりの推進について

問 パーやドラッグストアのような生活に必要な施設についても、市で支援することはできないか。

答 スーパー等に対する誘致支援については、現時点では特定の業種に対する存続や誘致の支援を実施する予定はないが、スーパーが撤退した地域の状況を注視していく。

山本 シモ子 議員
市民が喜ぶ水道の基本料金免除期間の拡充を!!
―水道の基本料金免除期間は、国の支援策終了の時期に合わせて―

問 物価高の影響で市民生活は依然厳しいとされている。都市計画税をせめて0・25%に引き下げ、一方、法人市民税を8・4%に引き上げ、適正な課税とするべきである。

答 仮に都市計画税を現行の0・3%から0・25%に引き下げると約5・1億円の減収、法人市民税を現行の6・0%から8・4%に引き上げると約9・7億円の増収となる。



安全な水をどんなときでも

問 防災備蓄倉庫に液体ミルクを配備することになった経緯は。

答 災害時の避難所では、ミルクを作る際、哺乳瓶を洗う衛生的な場所、お湯を沸かす環境が整わない場合も考えられる中、お湯で溶かす必要がなく、すぐに飲むことができるので、従来の製品より賞味期限が長い液体ミルクが販売されたため追加配備するものである。

問 配備予定の液体ミルクはどのようなものか。

答 粉ミルクと同様、常温で18か月の長期保存ができ、備蓄に適したものであるが、平常時での利用はまだ少ない状況にあり、赤ちゃんと飲み慣れないため、平常時からの普及啓発にも努めていきたいと考えている。

白土 美恵子 議員
赤ちゃんを育てる親等の負担を軽減するため、液体ミルクの配備を!!
―長期保存ができ、備蓄に適した液体ミルクを配備する―

問 親世代、子世代への経済的支援として、18歳年度末までの医療費無料化、学校給食費無償化を実施する考えはあるか。

答 現時点では実施の予定はないが、経済的な子育て支援策は効果などを総合的に検討する責任がある。少子化対策は国と地方が連携しながら力を合わせ行う必要があると考えている。

鈴木 絹男 議員
18歳年度末までの医療費無料化、学校給食費無償化の考えは!!
―現時点で実施予定はないが効果など総合的に検討する責任がある―

問 刈谷市が今後さらに生活先進都市として全国に冠たるものを示していくことを期待している。例えばスマートシティ事業は、市長が大きなスケールをもって臨めば、日本中が驚くほどの市になれる。また、若い保護者の皆さんは経済的支援を一番に望んでいる。市民の声を聴き若い家庭にいろいろな手厚い支援をすることで、刈谷市は遠

問 活動に参加する方々のネットワークづくりや地域のつながりづくりを目標として活動を推進していきたいと考えている。

答 現時点では、給食の食材費については、保護者の方に負担していただくことが望ましい

上田 昌哉 議員
給食から子供たちの育つ環境、教育の質の向上を!!
―子供たちにとって魅力ある給食になるよう努めている―

問 少子化の波が緩やかになるよういかなる子育て政策に予算をつぎ込む必要がある。その一つとして給食の無償化について、

答 実現には、公共の整備だけでなく、民間との連携が必要となる。実現に向けた課題を整理し、優先して実施する事業を示し、事業ごとに計画を策定し進めていきたい。



市民の健康増進・余暇の充実のため楽しい公園づくりを

山崎 高晴 議員
市民が誰でもいつまでも楽しめる公園づくりを!!
―誰もが快適に心豊かな時間を過ごせるよう再整備等に取り組む―

問 市民が主体的に取り組んで策定された魅力あふれる公園づくり構想は、市民が考えている公園の理想の将来像になっていくと思われ。構想の実現に向けた今後の展開は。

答 実現には、公共の整備だけでなく、民間との連携が必要となる。実現に向けた課題を整理し、優先して実施する事業を示し、事業ごとに計画を策定し進めていきたい。



魅力ある献立で安心安全な給食を提供

問 給食のオーガニック化の「はじめの一歩」をスタートさせることを求めるがどうか。

答 複数の事業者を確認したところ、既存の仕入れルートでは有機食材の取扱いは皆無であること、あいち中央農業協同組合に確認したところ、管内で出荷を目的に有機食材を取り扱う農家がないことから、現状では導入は困難なものと考えている。

問 給食に有機食材を導入することの調査・研究の成果は。

答 有機食材を学校給食に取り入れている東郷町では、有機食材の導入検討時に給食提供で

伊藤 幸弘 議員
生活者の利便性と先進性を追求した「公共交通計画」策定を!!
―市民ニーズに応じた利便性の高い公共交通体系の再編を行う―

問 現在策定中の「地域公共交通計画」の進め方と進捗は。

答 本計画は令和3年度から着手し、バス利用者等へのアンケートや中学校区単位で地区代表者等と意見交換を行った。その結果を踏まえて令和5年度末の公表を目指している。

問 市民や利用者によるアンケートから読み取れた課題は。

答 北部や南部ではタクシー

波邊 妙美 議員
重層的支援体制整備事業の具現化で地域共生社会の実現を!!
―潜在的な支援ニーズを的確に把握できるよう体制整備を努める―

問 令和3年4月にあった社会福祉法の一部改正の内容は。

答 地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対し、包括的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業が創設された。

問 本市の包括的支援とは、何をどう包括的に支援するのか。

答 相談者の属性や世代、相談内容にかかわらず相談を受け止め、適切な支援関係人と連

新海 真規 議員
市民に対し刈谷城の建設の是非を問うアンケート調査を!!
―市民公園づくり会議や利用者から幅広く意見をいただいている―

問 刈谷城の建設計画が持ち上がって長い時間が経過している。現在は、コロナ感染症の拡大による疲労感と物価高により市民生活は困窮しており、お城よりも優先すべきことが山ほどあると考える。お城建設を進める必要があるのか。

答 亀城公園を再整備するに当たり、かつての姿を取り戻すことが公園整備にふさわしいと

星野 雅春 議員
生活に必要なスーパー等の施設撤退に対し、市としての対応を!!
―スーパーが撤退した地域の状況を注視していく―

問 南部地区で2件のスーパーが閉店した。スーパーの撤退は買物難民や従業員からの失業の問題など、単に民間の事業者が撤退

答 令和5年度には、双葉グラウンドの常設トイレと和式便器から洋式便器への改修工事を予定している。その他のグラウンドのトイレについては、便器の洋式化や老朽具合に応じた改修のほか、適正な数の配置や水洗化などを計画的に進められるよう検討する。

松永 寿 議員
グラウンドゴルフ専用のスポーツ施設の設置の考えは!!
―グラウンドゴルフ利用を念頭に多目的グラウンドの整備を予定している―

問 コミュニティの場、健康増進の場としてグラウンドゴルフを楽している方が多くいるが、多目的に使用している場所では、プレーする前に整備から始めなければならないという現状がある。また、芝生では凸凹があり、競技に支障が出ている。グラウンドゴルフ専用のスポーツ施設の設置を望む声があるが、設置についての考えは。

答 グラウンドゴルフについては、専用ではないが、小垣江、井ヶ谷、双葉の各グラウンドや公園のグラウンドなどでも利用できる。新年度から、(仮称)

深谷 英貴 議員
使用者の声に応え「屋外スポーツ施設のトイレ」の改修を!!
―今後、計画的に進められるよう検討していく―

問 トイレの改修要望等について、グラウンド利用者からどのような声が届いているのか。

答 小垣江グラウンドでは、トイレの増設を、双葉グラウンドでは、臭いや衛生的な管理と便器の洋式化を、亀城公園運動広場では、同じく臭いや衛生的な管理のほか、水洗化への要望をいただいている。

問 グラウンド利用者から市

問 令和5年度には、双葉グラウンドの常設トイレと和式便器から洋式便器への改修工事を予定している。その他のグラウンドのトイレについては、便器の洋式化や老朽具合に応じた改修のほか、適正な数の配置や水洗化などを計画的に進められるよう検討する。



刈谷市で開催されたグラウンドゴルフ大会の様子

問 国産小麦の使用割合を増やしたり、有機野菜を使用することで、刈谷の給食の質を高めることがシティーセールスにつながるかと考えるがどうか。

答 本市では、刈谷市産や県

問 国産小麦の使用割合を増やしたり、有機野菜を使用することで、刈谷の給食の質を高めることがシティーセールスにつながるかと考えるがどうか。

答 本市では、刈谷市産や県

問 内産の野菜を優先的に使用するなど、安心安全でおいしい給食を提供するとともに、行事食、郷土料理など工夫を凝らしている。子供たちに魅力ある給食を提供することで、シティーセールスにつながるかと考えている。

質問質疑

市政のしるしを問う

この定例会では3月1日・2日・3日の3日間で、18人が登壇し、42項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問質疑項目(発言順)

(※:掲載した項目)

- 蜂須賀 信明 議員**
 - 刈谷市の食育推進計画について
 - 刈谷生きがい楽農センターの概要について
 - 給食のオーガニック化について
- 山崎 高晴 議員**
 - 施設方針について
 - 教育行政方針について
- 上田 昌哉 議員**
 - 刈谷市の経済動向と財政について
 - 学校給食と食の安全について
- 松永 寿 議員**
 - 施設方針について
 - 教育行政方針について
- 深谷 英貴 議員**
 - 安心して移動できる歩道について
 - 屋外スポーツ施設のトイレについて
- 星野 雅春 議員**
 - 施設方針について
 - 教育行政方針について
 - 令和5年度予算案について
 - NHKラジオ塔について
- 稲垣 雅弘 議員**
 - 刈谷市の目指すまちづくりの視座について
- 鈴木 絹男 議員**
 - 施設方針について
 - 教育行政方針について
- 白土 美恵子 議員**
 - 子育て支援について
 - 不登校対策について
 - 若者の声を政策に反映させる取組について
- 山本 シモ子 議員**
 - 市長の政治姿勢について
 - 教育長の教育行政方針について
 - 2023年度予算の税金の集め方・使い方について
- 新海 真規 議員**
 - 刈谷城建設について
 - 市民意識調査について
- 渡邊 妙美 議員**
 - 刈谷市の観光施策について
 - 地域共生社会の実現について

質問・答弁がホームページから御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

